

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学2年	特進・進学	音楽		1	必修

教科書	教育出版 音楽のおくりもの2・3上、2・3下 中学器楽 音楽のおくりもの
その他の教材	音楽鑑賞資料集 : 正進社 音楽学習帳 : 福島県中学校教育研究会 アルトリコーダー・箏・ギター

目標	<p>1. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>2. 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。</p> <p>3. 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。</p>
学習のねらい	<p>1. 歌唱表現の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わい、美しい言葉の表現や、その曲にふさわしい表現を工夫すること ・声部の役割を考え、全体の響きを感じ取って合唱すること ・音楽の諸要素の変化を理解して表現を工夫すること <p>2. 器楽表現の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を生かして、曲にふさわしい音色や奏法を工夫すること ・自分の役割を考え、全体を聞きながらアンサンブルを作り上げる工夫をすること <p>3. 鑑賞の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な音源による音色、音と音のかかわり、楽曲の構成、などを味わって聴くこと ・音楽の仕組みを理解して聴くこと ・日本の伝統音楽も含めた、世界に存在する様々な音楽の多様性を理解して聴くこと
定期考査	<p>実技試験（歌唱・器楽）</p> <p>筆記試験</p>
評価の観点 および 評価の方法	<p>実技試験の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現に対する姿勢とその技術 ・大勢の前での発表力 ・音楽表現の意欲・その豊かさ・技術 <p>筆記試験の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識の確認 <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験（実技30%、筆記30%）、平常点（授業態度など）20～25%、ノートの提出と内容について15～20%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ワーク・楽器などは忘れずに毎時間持ってくる ・移動教室の際に遅れないようにすること ・提出物の期限を守ること

桜の聖母学院中学校・高等学校 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	校歌 花の街 リコーダー三重奏 (S, A, A) 「春」	
	5 月	ハレルヤコーラス① リコーダー三重奏 (S, A, A) 鑑賞「展覧会の絵」	「展覧会の絵」まとめ
	6 月	浜辺の歌 ハレルヤコーラス②	実技試験・歌唱「花の街」 ・器楽 リコーダー三重奏 「春」 期末テスト
	7 月	浜辺の歌	
夏 季 休 業		音楽紹介文の作成	
2 学 期	9 月	浜辺の歌 リコーダー三重奏曲 「リュートのための古風な舞曲とアリア」より ハレルヤコーラス③	
	10 月	鑑賞「交響曲第5番」 ハレルヤコーラス④	「交響曲第5番」まとめ
	11 月	キャロルコンクールに向けて 鑑賞「小フーガト短調」 ハレルヤコーラス⑤	「小フーガト短調」まとめ 実技試験・歌唱「浜辺の歌」「早春賦」 から選択 ・器楽 リコーダー重奏曲 「リュートのための古 風な舞曲とアリア」より 期末テスト
	12 月	キャロルコンクール ハレルヤコーラス⑥	
冬 季 休 業			
3 学 期	1 月	鑑賞「歌舞伎・勸進帳」 ギター実習 音階・コード・重奏	
	2 月	ギター実習・メロディとコード ギターアンサンブル	実技試験・器楽 ギター二重奏 「勸進帳」まとめ
	3 月	花	
春 季 休 業			